



不忘山

平成28年
5月31日

第5号
(文責：教頭)

「はやね はやおき あさごはん」、交通ルールを守りましょう！

(学校のホームページ → www.fukuoka-e.shiroishi-c.ed.jp/)

力を出し切った運動会

5月21日(土)に、今年度の運動会が無事に終わりました。当日、子供たちは、自分の持っている力を精一杯出し切って、競技をしたり演技をしたりしました。今回も、当日の写真を紹介しながらその様子を振り返ってみましょう。

はじめに入場行進から開会式の様子です。校旗を先頭に、各学年、堂々の行進でした。今年も、1年生がはじめのことばを元気に話しました。そして、赤白に分かれての応援合戦も気合いが入り、元気なかけ声や「ゴーゴーゴー」の歌声が響き渡りました。



開会式後、5年生の徒競走から競技が始まりました。続けて、3年生、4年生と力走が続きました。

表現運動をはさんで、6年生の徒競走が行われました。6年生の徒競走では、初めて男女混合の形で走りました。1、2年生は本部テント前の直線コースで競いました。



低学年のダンスは両手にポンポンを付けてかわいらしく踊りました。中学年の踊りではかけ声に合わせて力強く踊りました。高学年の組体操では一人技から二人技と次第に数を増やして、様々な形を作り上げ、心を一つにしてリズムカルに力強い組体操を披露しました。これまでの練習の成果を、全員で表現することができました。



玉入れ、綱引き、大玉運びリレーなどの団体競技では、高いかごをめざして玉を投げ上げたり、綱をしっかり握って踏ん張って綱を引いたり、大玉を落とさないようにしながらもできるだけ素速く次の人に回したりなど、赤組も白組も勝利をめざしてがんばりました。保護者の皆様に参加していただいた大玉運びリレーも、2回戦共にユーモラスなゴールインで、1対1の引き分けに終わりました。

今年度も白組の優勝で終わった運動会でしたが、最後まで子供たちは力を出し切り、大成功で終わることができました。

当日、朝早くからお手伝いいただきましたPTA本部役員の皆様と体育委員の皆様、そしてたくさんの応援をくださいました保護者の皆様と地域の皆様、どうもありがとうございました。

なお、当日の様子は近日中にホームページにも公開いたしますので、ご覧ください。

三つ心 六つ躰 九つ言葉 十二文 十五理

江戸時代の町民の「しつけ」は、かなり厳しく、しかも道理にかなったものであったようです。「子育て仕草」といわれているのが、『三つ心、六つ躰、九つ言葉、十二文、十五理で未決まる』です。これは、江戸時代の商人の子育ての教えのようですが、現代の家庭教育にも当てはまります。

▼三つ心（みつつこころ）

三歳までには心。「三つ子の魂 百までも」と言われるように、三歳までは愛情深く子供に接し、人に対する信頼感を植え付け、心の大切さを理解させることが大切です。自分が家族や周囲の人々から大切にされているという安心感・信頼感は、今も昔も人にとって最も基本的な要素です。

▼六つ躰（むつつしつけ）

六歳までに躰。日常生活のしぐさ・作法の基本を身につけさせるために何度も何度もできるまで繰り返し行う。「鉄は熱いうちに打つ」と言われるように、この時期の子供に躰という1本の筋を叩き入れることが大切です。親が手取り足取りまねをさせて、スムーズに動きができるようにさせることが必要なのでしょうね。家庭での教育力が試されます。

▼九つ言葉（このつことば）

九歳までにどんな人にも失礼にならないあいさつや、他人への口の利き方を教えることが大切です。特に、人間関係を円滑にするあいさつができることが必要で、気配りの心をもったあいさつができることを九歳までに身につけるよう徹底したようです。自分の言葉で話ができるようにと、親はいろいろ話しかけ、会話を通して語彙（ごい）を増やし、言葉のつかい方を学ばせます。人前でも恥ずかしくない言葉遣いを覚えさせるのによい時期なのです。

▼十二文（じゅうにふみ）

十二歳になる頃には、文字を自在にあやつり、きちんと中身が伝えられる文章を書けるようにすること。一家の主に万が一のことがあっても、すぐに後を継げるような、実用的な書類の作成まで求めていたようです。



▼十五理（じゅうごことわり）

「十五理」とは、十五歳になる頃までに世の中の道理を理解させなさいということ。

さて、実際の私の子育てを振り返り比べると、江戸時代の教育指針の高さには目を見張るばかりです。あいさつ、はしの持ち方、言葉、文章力どれをとっても江戸時代の人におよびません。

しかしながら、教育の土台は、普段の家庭の温かい食事や会話、江戸時代の人も大切にしていたらう親や近所の人への厳しくも温かい目なのだろうと改めて思います。

純子先生、お元気で！

昨日、人事異動のお知らせの文書をお配りいたしましたとおり、5月31日をもって、武田純子教諭が本校を離れることになりました。誰もが驚いた今回の人事異動です。

昨日の朝会に続いて、今朝、離任式を行いました。

離任のあいさつでは、各学年の子供たちに向けて、それぞれの学年の良さや頑張りを話していただきました。かしの木児童会を代表して、6年生の片平絵理さんが贈る言葉を述べました。

今後のご活躍をお祈りいたします



登校時刻のお願い

毎朝、子供たちが元気に登校してくる姿はとても嬉しいものです。今年度も、子供たちが不登校になることなく、元気に登校することを願っています。

さて、登校の時刻について、一つ、お願いがございます。

7時前後に登校するお子さんもいるのですが、

早くとも7時20分を目安に登校されていただきたいのです。

あまり早い時間帯ですと、出勤している教職員が少ないため、万が一の事態が発生した際に、対応できない場合が生じます。

明日から昇降口の解錠を7時20分としますので、ご協力願います。